



©湯浅報恩会

# 病診連携通信

## 第58号

公益財団法人  
湯浅報恩会  
寿泉堂総合病院  
令和8年 7月吉日

### 終夜睡眠ポリグラフィー（入院full PSG検査）のご紹介 － 睡眠時無呼吸症候群における持続陽圧呼吸療法の要件が緩和されました －

2026年の診療報酬改定で睡眠時無呼吸症候群（Sleep Apnea Syndrome、SAS）における持続陽圧呼吸療法（Continuous Positive Airway Pressure、CPAPによる治療）の治療要件が緩和されました。従来のCPAP治療の要件は携帯用装置による検査（簡易SAS検査、自宅で施行する検査）で無呼吸低呼吸指数（Apnea Hypopnea Index、AHI）40以上であったものが30以上、入院 full PSG（Polysomnography）検査でAHI 20以上であったものが15以上へと緩和されました。今までより睡眠時無呼吸症候群のCPAP治療が導入しやすくなりました。

Polysomnography in High Definition  
**SOMNO HD™**



PSG検査機器本体

ちなみに睡眠時無呼吸症候群の重症度は1時間あたり10秒以上の無呼吸低呼吸発作回数（AHI）が5回以上で軽症、15回以上で中等症、30回以上で重症と診断されます。

当院では睡眠評価装置ソムノHD（フクダ電子株式会社）を導入しています。当検査機器は従来品と比較して高い分解能が得られ、信号の品質の向上が図られています。またワイヤレスでデータが送信されるため、検査中も電極やセンサーによる行動制限がありません。検査は通常平日の入院で1泊2日、15時に入院いただき翌日午前中の退院となっています。検査結果の報告には約2週間の日数をいただいています。



PSG 装着時の様子

**簡易SAS検査にてAHI30未満で入院PSG検査が必要な患者さんがいらっしゃいましたら是非ご紹介ください。また、携帯用装置（簡易SAS検査装置）も導入しています。睡眠時無呼吸症候群が疑われ、精密検査やCPAP治療に積極的な患者さんどうぞ気軽にご紹介ください。**

耳鼻咽喉科 山辺 習

寿泉堂総合病院では地域医療支援病院として病診連携を推進しています。

患者さんのご紹介や外来診療に関するお問い合わせ

寿泉堂総合病院 地域連携室 ☎024-927-0760（直通）または

☎024-932-6363（代表）をお願い致します。

